

ごみ減量・リサイクル通信

発行：船橋地区ごみ減量・リサイクル推進委員会

事務局：船橋まちづくりセンター（3482）0341

第2号 平成26年2月発行

ごみ・資源の出し方について



今号はごみ・資源の出し方の概要をまとめました。なお、ごみ・資源の出し方についての詳細や解らないことは砧清掃事務所(3290-2151)に連絡して下さい。



「可燃ごみ」

生ごみ、紙くず、木くず、プラスチック、ゴム、皮等、清掃工場で焼却できるごみです。ふたつきの容器(90リットル以下)または中身の見える袋に入れてお出し下さい。資源として出せるものは資源回収に、また生ごみはできるだけ水分を切ってから出すようにお願いします。竹串等先の尖ったものは新聞紙等にくるんで出して下さい。※4. 5ℓ袋で4袋以上出すときは清掃事務所に予約。

「不燃ごみ」

金属、ガラス、電池等清掃工場で焼却できないごみです。ふたつきの容器(90リットル以下)または中身の見える袋に入れてお出し下さい。なお、以下のものは別の袋に入れてお出し下さい。

- 蛍光管、電球、ガラス、刃物など鋭利なもの(厚紙等で包み「キケン」と表示)
- スプレー缶、カセットボンベ、ライター(使い切ってから「スプレー缶」等と表示、穴は空けない)
- 小型家電、フライパン、延長コードなどの金属を含む製品(金属分の資源化を行っているため)

「粗大ごみ」

可燃・不燃にかかわらず、30センチ角以上のものは粗大ごみとしてだして下さい。粗大ごみは大きさを測ってから、粗大ごみ受付センターへ電話またはインターネットで申し込みをして下さい。品物、大きさにより料金が異なります。また、自宅前での回収と指定場所への持込でも料金がことなります。 世田谷区粗大ごみ受付センター 5715-1133

「資源」

○以下のものは集積所等で回収を行っています

古紙・ダンボール 油等で汚れている、防水等特殊加工がしてある、感熱紙等は可燃ごみへ
びん、缶 油等で汚れている、薬品が入っていたビン、飲み物・食品用以外の缶は不燃ごみへ
ペットボトル 回収ボックスのあるお店や公共施設でも回収をしています

○発泡トレイ、紙パックは洗って乾かしてから近くにある回収ボックスへ

○古着・古布は春と秋に行っている古着・古布回収へ(毎年5月・10月の第3日曜日に実施予定)

「回収できないもの」

○家電リサイクル法の対象品(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)

⇒家電リサイクル受付センター(5296-7200)へ

○家庭用パソコン⇒各メーカーへ、自作品等はパソコン3R推進協会(5282-7685)へ

○消火器⇒日本消火器工業会代理店 消火器リサイクル推進センター(5829-6773)へ

○薬品・ピアノ・塗料・石油・オイル・バッテリー・タイヤ・ブロック・レンガ・砂・土・石膏ボード

⇒購入店、メーカーに引き取ってもらうか、専門業者に依頼して下さい

裏面へ

ごみ・資源の種類

これって何ごみ？ ごみ・資源を出すときに迷いそうなもの、注意が必要なものを掲載しました。

品目	種別	注意すること
落葉	可燃	45リットル袋4袋以上出すときは清掃事務所へ相談
温度計	不燃	
オイル	—	購入店やメーカーに引き取りを依頼するか専門業者に依頼
カイロ(使い捨て)	不燃	
傘	不燃	10本以上まとめて出す場合は、粗大ごみとして申し込む
カセットボンベ	不燃	使い切ってから別の袋に入れ「ボンベ」などと表示
活性炭	可燃	
乾燥剤	可燃	
串	可燃	新聞紙にくるんで「危険」と表示、金属製は不燃ごみへ
携帯電話	(不燃)	希少金属の再利用のため回収を行っているお店や各総合支所の改修ボックスへ、ごみとして出す場合は不燃ごみ
血圧計	不燃	水銀式、電池式、プラスチック製品全て不燃ごみ
ゴルフクラブ	粗大	20本まで同一料金
コンクリート片	—	購入店やメーカーに引き取りを依頼するか専門業者に依頼
殺菌剤、殺菌剤、防虫剤	—	購入店やメーカーに引き取りを依頼するか専門業者に依頼
写真	可燃	古紙回収には出さないでください
シュレッターくず	可燃	古紙回収には出さないでください
スプレー缶	不燃	使い切ってから別の袋に入れ「スプレー缶」などと表示
体温計	不燃	水銀式、電池式、プラスチック製品全て不燃ごみ
卓上コンロ	不燃	30cm 角以上のものは粗大、カセットボンベは必ず外す
乾電池	不燃	ニッカド電池は販売店の回収ボックスへ
充電式電池	—	販売店の回収ボックスへ
針金ハンガー	不燃	プラスチックでフックのみ金属のものは可燃(全て金属は不燃)
ボタン電池	—	販売店の回収ボックスへ
畳	粗大	建物の解体に伴うものは除く
花火、マッチ	可燃	水にひたしてから出す、花火は1週間程度水にひたす
保冷剤	可燃	飛び散らないように新聞紙等にくるんで出して下さい
ロープ	可燃	50センチ以下に切って出して下さい

編集後記

ごみ減量・リサイクル推進委員会の委員研修で、中央防波堤埋立処分場の見学に行ってきました。埋立処分場は、都内で出されたごみが焼却処分等を経て最終処分(埋立)される場所で東京湾にあります。埋立地に隣接してごみを処理する様々な施設もあり、粗大ごみを破碎する機械、金属類を破碎しリサイクルできる金属を自動的に分別する機械など様々な機械も設置されています。破碎された粗大ごみは清掃工場に戻され焼却後、また処分場に運ばれ埋め立てられるそうです。埋立作業の様子も間近で見ることができました。ごみが飛散しないように、ごみ・土・ごみ・土と何層にもして埋め立てるそうです。埋立のさいに出る汚水はろ過を繰り返し、きれいな水となってから東京湾に放出されます。この処分場は都内のごみが最終的に集められる所ですが、今のペースで埋立を続けていくと、あと50年で埋立できる場所が満杯となり東京湾にはもう埋立できる場所はなくなってしまうそうです。新たなごみの埋立場所を探すのは、容易なことではありません。現在の埋立地(限りある土地)を少しでも長く使えるように、一人ひとりがごみを減らす生活を心がけたいものです。